



今号の法語

難儀なんぎや厄介やっかいに会わないことが

仏の教えではなくて、

難儀なんぎや厄介やっかいから己おのれをしらされる

その眼を頂くことが仏の教えです



二月には節分があり、テレビでは様々な場所で豆まきが行われていました。一部ではお寺でも豆まきが行われています。たので、豆まきは仏教行事だと思われています。実は仏教行事ではありません。「鬼は外」「福は内」と言うように難儀なんぎや厄介やっかいに会わない事を願い、幸福が訪れる事を願います。しかし仏教では私たちが出会っていく縁というものは、私たちがどうしたいという思いを超えているので、当然のことながら難儀なんぎや厄介やっかいな事は避けたくても縁が整えば会わずにはなりません。それは神だろうが仏だろうが、残念ですがどうすることもできません。厄介やっかいな事が起こらなければ一番いいのですが、大切なのは難儀なんぎや厄介やっかいな事こそが大事な事を教えてくれるのだという事です。例えば人生を自分の都合よく生きたいという思いが、自分自身を縛り付け、苦しめている原因だと知られることがあります。私たちは日々の暮らしの中で自分の外の世界ばかりを見ていて、己おのれを見つめるという視点が決定的に欠けていますが、挫折や苦勞を通して我を折られることで視線が内に向いていきます。このタイムミングを逃さない事が仏の教えです。学生時代の恩師は「人生の中で大事な事に出会った時にうっかりと通り過ぎてしまわない為に仏教の勉強やお話を聞くのだ」とおっしゃっていました。皆さんは人生において大事な場面をうっかりと通り過ぎていませんか。まだ間に合います。一緒に仏さまの話をお聞きしましょう。

## 合同帰敬式のご案内



帰敬式（おかみそり）とは仏さまの弟子としての法名をいただき、これからの人生を仏の教えを拠り所として生きていく誓いの儀式です。生前に受式されていない場合は、葬儀の際に受式しますが、正式には生前に受式することになっており、多くの方が受式しています。受式出来る場所は京都の本山、富山別院、所属寺院になりますが、当寺ではこれまで個別で帰敬式（おかみそり）を行っていましたが、今回希望者を募って合同で行います。自分の人生を見つめなおす機会にもなりますので、まだ受式していない方は是非受式下さい。尚この合同帰敬式は毎年日を決めて行っていく予定です。

### ●合同帰敬式（おかみそり）

日時：六月十六日（日）

時間：十三時半～十五時頃

場所：辻徳法寺

会費（礼金）：一万三千元

注意事項：事前の手続きが必要になりますので、申し込みは五月三十日（木）までお寺にご連絡ください。

## お寺の風景



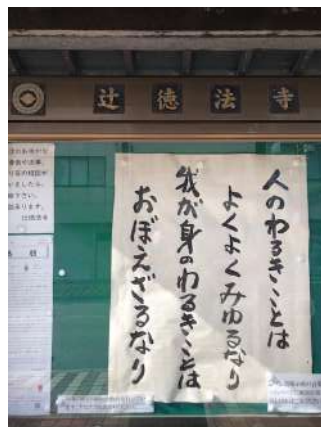
境内の除雪



除夜の鐘付き



門徒会館前に設置した誕生仏



門前にあるお寺の掲示板



春彼岸会に掲示した門徒法名軸



誕生仏に甘茶を掛ける子ども達



誌上法話

一切諸仏



先日娘が小学校を卒業し、四月から中学生になります。私も卒業式に参加し卒業証書を受け取っている娘の姿を見ていると、小さな背中に大きなランドセルを背負って入学した日がつい先日の様に感じられました。そして保育所の頃から同級生だったお友達の姿を六年ぶりに見た時は、あまりの成長に本人だと分からなかったくらいです。自分にもこのような時があったのだなと感慨深い思いでした。子どもが成長するという事は勝手に成長する訳ではありません。色々な機会を通して自ら考えたり、悩んだりしながら学び、そして壁を乗り越えて成長していきます。その際に先生や友達、親などとの関りの中で様々な気づきを得ていきます。これは子供だけではなく我々大人も同様です。子どもの成長を見ながら、関係性の中で我々大人も親にさせていただいています。つまり子どもとの関りの中で大人も多くの経験をさせてもらい、たくさん教えられ、共に成長させていただいていると実感させられます。親が子どもに様々なことを教えるのは当然ですが、親である私もまた、いくつになろうが教え

られ、育てられる立場であると思います。

時として子どもの純粋な行動や疑問というものは、世間の価値観や常識などというものに無意識に縛られて、自らの分別ぶんべつに対して何の疑いもなく生きていく大人に対して新たな気づきを促うながしてくれれます。それは大事な豊かな世界を忘れ去って、孤独な世界を歩いている私を呼び覚ます声のようです。例えば虫や花をひとつ見ても、私たちは醜みにくいとされるものときれいなものを分けて見る癖が付いています。しかし子どもの無垢むくな心にはその差がわかりません。どれを見てもどれも平等です。それは物事に根拠のない自分勝手な良し悪しをつけて判断するところが、結果的に自分を苦しめているのだという事を私たちに教えてくれているようです。ある先生が「地獄はどこにもないのだ。無い地獄を作って勝手に苦しんでいる」とおっしゃいました。ありのままに事実を捉とらえることができずに苦しむ私たち大人に対して、子どもたちを通して仏さまがはたらきかけて下さっていると言えるでしょう。このように全ての存在を通して私たちは常に教えられ、育てられていきます。仏教ではそこに仏さまのはたらきをいただき、「一切諸仏いっさいしよぶつ」と言います。



## 坊守日記 ぼうもり



先日娘が中学の入学式を迎えました。六年間慣れしんだ桜井小学校を卒業して、自分で決断し富山市の中学校に受験して入学する事になりました。中学校では知り合いは誰もおらず、本人も友達が出来るかどうか心配していましたが、積極的にクラスの役員に立候補したりしながら、学校に馴染もうとしている姿を見て私も元気をもらいます。私も高校からですが、親元を離れて遠くの学校に通いました。友達も知り合いもおらず、最初は「地元の高校に行けばよかった」と泣いて親に電話したこともありましたが。でも強いもので乗り越えて行くんですね。あの時の経験は大学に入学して環境が変わった時、結婚してお寺に入った時、「自分は大丈夫。乗り越えられる」と自信になっています。娘の入学式の挨拶で相田みつをさんの言葉の「あの苦しみも悲しみもみんな肥料になったんだ。じぶんが自分になるために。」という言葉を教えて頂き、この経験が娘の人生の肥料になってもらえればと願っています。



## 編集後記



お寺の本堂裏の客間を整備し、納骨壇のうこつだんを新たに設けました。最近はお墓の後継者が不在であったり、後継者がいても遠方に住んでいるという理由でお墓じまいを検討している方が多くいます。また分家の為に新たにお墓が必要ですが、今後の事を考えて納骨堂を検討しているという方もいらっしゃると思います。そのような悩みに対応するべく、納骨壇のうこつだんを設けました。木のぬくもりや光の温かみを感じられるような素晴らしいものに仕上がっていると胸を張って言えるのではないかと思います。また日ごろからお寺を護持してくださっている門徒の皆さんに対しては、ご利用に際しても特典を設ける予定です。見学も出来ますので気軽に  
お問い合わせ  
せ下さい。



真宗大谷派  
親鸞聖人の寺  
三本柿

## 辻徳法寺

〒938-0031

富山県黒部市三日市3214

TEL・FAX(0765) 52-0791

ホームページアドレス

<https://tokuhoji.net>

[@temple\\_english\\_tokuhoji](https://www.instagram.com/temple_english_tokuhoji)



今後の仏教講座の予定は 5月9日(木) 13時半~です  
6月10日(月) //